

東雲の会の これまでと今後について

東雲の会
副代表 高橋佑治

東雲の会

- 「同じ町の人が多く入居しているはずなのに見知らぬ人ばかり。挨拶もなくむなしくすれ違う」、これが入居初めの状態でした
- この状況を心配した東京都の担当職員が平成23年7月に各階ごとの集まりを持ち、その中で皆さんの声を聞き、話し合いました。
- そして、その時に選出された代表者と都の担当職員、および江東区社会福祉協議会の方との数回にわたる話し合いにより、「交流」を目的とした「東雲の会」が結成されました。

(設立趣旨より)

活動

■ 交流サロン活動

- 交流コーナー、情報コーナー、創作活動、各種イベント等(毎週火曜日、木曜日)

■ 交流行事

- 東雲の会主催と企業等からの招待事業があります

■ 東雲見守り隊

■ 広報誌「きずな」発行

■ 地域交流

- 地域のお祭りへの参加、ボランティアまつり(江東区)への参加、クリーン作戦

様々な協力

- 東京都、江東区、住宅供給公社、江東区社協等からの協力
 - 上記4者と東雲の会で連絡協議会を月一回開催しています
- 弁護士会、東京しごとセンター等の協力
 - 定期的に東雲住宅に来ていただき、各種相談を引き受けてもらっています
- 企業、各種団体からの協力
 - 当初は、物資等の支援をいただき、現在は、各種イベントへの招待等をいただいています

各種支援について

- 避難当初は、物資の支援がありがたかった。
 - 現在でも当時いただいた洋服を着ている方は多い
- 交流できる場づくり、きっかけづくり
 - 住民同士がつながるための支援
- 人生を再スタートするための情報
 - 早く再出発したい。
 - そのための、賠償に関する情報。自分に合った各種法律・制度に関する情報をわかりやすく教えて欲しい。
 - これらは普通に聞いてもわからない。通訳してくれる支援を！

今後について

- 地域に溶け込めるように
 - ボランティアまつり
 - グランチャ夏祭り
- 支援されるばかりではなく、自分たちで積極的に飛び込んでいく
 - クリーン作戦
 - 見守り隊

これらは、役員の参加が中心だったのですが、現在は多くの方が参加くださるようになっていきます。それでも、まだ顔の見えない方もおられます。